令和２年４月１日

生徒及び保護者の皆様へ

愛知県立瀬戸西高等学校長

学校再開にあたって（お願い）

文部科学省から３月２４日付けで示された「新型コロナウイルス感染症に対応した学校再開ガイドライン」（文部科学省ＨＰ参照）を踏まえて、愛知県教育委員会は、万全の感染症対策を講じた上で、県立学校における教育活動を春季休業開けから再開することとしました。ガイドラインに示された留意点に基づく学校としての対応の概要と、生徒・保護者の皆様へのお願いをお伝えしますので、ご理解とご協力をお願いします。

１　生徒及び教職員の毎朝の検温、風邪症状の有無等の確認を行う

学校では朝のＳＴで確認をしますので、ご家庭で登校前に検温等の健康観察をすませてください。その際に発熱等の体調不良があれば、登校を控えてください。欠席による不利益が生じないよう配慮します。

２　手洗いや咳エチケットの指導を行う

すべてのトイレや手洗い場に石けんが用意されています。手洗いを確実に行い、咳エチケットをしっかり守って生活する習慣を身につけてください。

３　三つの条件（換気の悪い密閉空間、人の密集、近距離での会話や発声）の重なりを避ける

換気を徹底しますが、教室では人の密集は避けられず、集団生活においては近距離での会話や発声は避けられません。職員にも呼びかけますが、生徒一人一人が感染の危険性を自覚し、マスクを着用するとともに、会話の際には十分注意を払うようにしてください。ご家庭でも注意喚起をお願いします。

なお、マスクについては学校でも不足しており、生徒に渡すことができない状況です。「子供の学び応援サイト」等を参考にして手作りマスクを作成するなどの方策も考えてください。

〇マスクの作り方（文部科学省ホームページ「子供の学び応援サイト」内）

https://www.mext.go.jp/a_menu/ikusei/gakusyushien/mext_00460.html

世界全域で感染が拡大しており、日本でも感染者の急増する地域が増えています。愛知県でも名古屋市のみならず本校近隣の地域に感染が拡大しており、ついに瀬戸市内でも感染者が確認されました。

高校生で重症化した例はほとんど見られないようですが、無症状又は症状の軽い子どもたちが高齢者等を含む家族内感染を引き起こし、クラスター連鎖のきっかけとなる可能性も指摘されています。

学校が再開されたからといって決して気を緩めることなく、誰もが感染者・濃厚接触者になりうる状況であることを認識し、一人ひとりが感染拡大防止に向けて最大限の注意をはらって生活してください。また、ウイルスへの抵抗力を高めるために、十分な睡眠、適度な運動や、バランスのとれた食事を心がけてください。ご家庭においてもご理解・ご協力くださいますよう重ねてお願いいたします。

新型コロナウイルス感染症に対応した学校再開ガイドラインで示された留意点

１　基本的な感染症対策の実施

（１）感染源を絶つこと

次の方法により、発熱等の風邪症状がみられる児童生徒等については、自宅で休養させることを徹底すること。

◎　家庭と連携した毎朝の検温及び風邪症状の確認

◎　登校前に確認できなかった児童生徒等については、保健室等での検温及び風邪症状の確認

（２）感染経路を絶つこと

手洗いや咳エチケットを徹底する。

（３）抵抗力を高めること

免疫力を高めるため、十分な睡眠、適度な運動やバランスのとれた食事を心がける。

２　集団感染のリスクへの対応

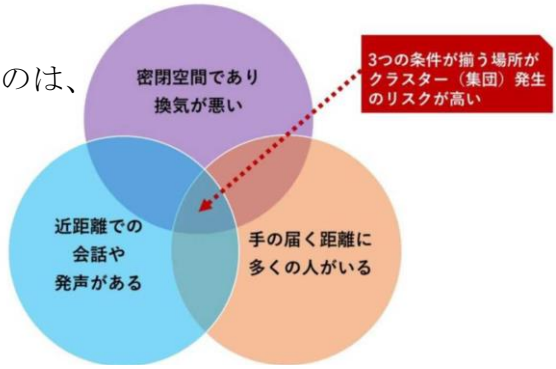
これまで、集団感染が確認された場に共通するのは、

・換気の悪い密閉空間であった

・多くの人が密集していた

・近距離での会話や発声が行われた

という３つの条件が重なった場である。



この３つの条件が同時に重なる場を徹底的に避けることが重要である。

これを踏まえ、以下のような対応を行うこと。

（１）換気の徹底

教室等のこまめな換気を実施すること。その際、衣服等による温度調節にも配慮すること。

（２）近距離での会話や発声等の際のマスクの使用等

飛沫を飛ばさないよう、咳エチケットの要領でマスクを装着するなどするよう指導すること。